

朝鮮学校コミュニティにおける「書き言葉体の話し言葉化現象」に関して

－書き言葉的な語の使用を中心に－

権恩熙(名古屋大学大学院生)

1. はじめに

在日コリアン・オールドカマーの言語事情については、日本語への言語シフトが完了したと見る見解が大多数である。しかし、朝鮮学校を中心に形成されたコミュニティの場合は事情が異なる。朝鮮学校では幼稚園から小・中・高、大学まで一貫した民族教育が行われており、それを通して朝鮮語の継承および保持に成功しているのである。さらに、そこで話されている朝鮮語はいろいろな面で本国とは違う独特の特徴を多く持つものとなっている。しかし、外部に閉鎖的なコミュニティであるとの認識があるせいか、その具体的な言語使用様相については未だ十分に解明されているとは言い難い。そこで、本発表では朝鮮学校中級部と高級部の授業7個を録音したものと朝鮮学校を扱っているドキュメンタリー7点における発話をうい、「在日朝鮮語」を特徴づけるもののひとつと考えられる「書き言葉体の話し言葉化現象」現象について実証的に概観考察する。

2. 先行研究

まず「書き言葉体の話し言葉化現象」現象に関する最初の指摘は、イリーナ・キム(1994)で見つかる。朝鮮学校の運営母体でもある「在日本朝鮮人総聯合会(以下、総聯)」の組織内では特徴のある朝鮮語が使用されているが、その特徴のひとつとして「朝鮮語の文語表現の口語使用(イリーナ・キム 1994:190)」されているという。ほかにも、同様の現象についての「本国の口語形態に対する不慣れ(朴浩烈 2007:114)」、「とりわけ口語は基本的に日本語の影響を強く受けつつ、朝鮮文化語の書き言葉を話し言葉化したもの(植田 2009:117)」などの指摘がある。しかし、いずれも「このような現象が存在する」程度の短編的な印象の記述にとどまっており、具体的な事例の提示や定量的調査による検証作業は行われていない。これらのことを踏まえ、本発表では、先行研究から幾度も指摘されている「書き言葉体の話し言葉化」現象について、「書き言葉的な語」の使用を中心に検証を試みた。具体的には、各語の「書き言葉/話し言葉としての性格」は韓国の朝鮮語コーパスを基準に判断し、朝鮮学校コミュニティにおける出現頻度と比較した。

3. 研究方法

3.1 言語資料

表1 朝鮮学校の授業談話の詳細

	学年	科目名	担当教員の出生地	担当教員の本籍(1世の故郷)	担当教員の世代	時間
①	中級部	国語(朝鮮語)	愛知県	韓国 慶尚南道	3世	39分
②	中級部	国語(朝鮮語)	東京都	韓国 慶尚南道	4世	37分
③	高級部2年	国語(朝鮮語)	愛知県	韓国 慶尚南道	4世	43分
④	高級部3年	国語(朝鮮語)	愛知県	韓国 慶尚南道	4世	38分
⑤	高級部1年	世界地理	岐阜県	韓国 慶尚南道	3世	43分
⑥	高級部1年	物理基礎	長野県	韓国 慶尚南道	4世	42分
⑦	高級部2年	物理	愛知県	韓国 慶尚南道	4世	42分

表2 映像資料の目録

放映	監督名	種類	映像物の題目	取材学校	時間	
1	2005	박기홍	SBS 스페셜 10 화	나는 가요-도쿄, 제 2 학교의 여름- (私は行きます-東京, 第2学校の夏-)	東京朝鮮第2 初級学校	61分
2	2007	박기홍	SBS 스페셜 83 화	도쿄, 제 2 학교의 봄(東京, 第2学校の春)	東京朝鮮第2 初級学校	55分
3	2007	박기홍	SBS 스페셜 95 화	자이니치 60년 학교 가는 길 (在日 60年, 学校に行く道)	東京朝鮮第1 初中級学校& 東京朝鮮第2 初級学校	53分
4	2007	김철민	KBS1TV 열린채널	민족학교에 가다(民族学校に行く)	京都朝鮮第3 初級学校	24分
5	2007	김명준	映画	우리학교(ウリハッキョ)	北海道朝鮮初中高級学校	132分
6	2007	김명준	映画 DVD 特典映像	우리학교-못 다 전한 이야기- (ウリハッキョ-伝えきれなかった話-)	北海道朝鮮初中高級学校	37分
7	2014	이일하	映画	울보 권투부(울보-泣き虫ボクシング部-)	東京朝鮮中高級学校	86分

3.2 調査方法

朝鮮語の「書き言葉的な語」が、朝鮮学校コミュニティにおいて話し言葉でも使用されているかを確認するため、まず先行研究を参考に、韓国の朝鮮語で似た意味と機能を持ちながらも、書き言葉的な語と話し言葉的な語の対立が比較的明確な6つの項目を選定した。副詞格助詞、接続助詞、逆接続副詞、順接続副詞、強調的程度副詞、終結語尾がそれである。

具体的な調査方法は次のとおりである。最初に、似た意味と機能を持つ複数の語の、本言語資料における出現回数をカウントする。この際、各単語の「書き言葉性/話し言葉性」の程度をより客観的に提示すべく、韓国で最大級の朝鮮語コーパスである「世宗(セジョン)コーパス」を活用した。「世宗コーパス」は、1998年から2007年までの期間に韓国の国立国語院によって構築されたコーパスであり、話し言葉コーパスは約80万文節、書き言葉コーパスは約1006万文節の規模となっている。各単語が世宗話し言葉コーパスと世宗書き言葉コーパスでどの程度の頻度で出現するのかを調べて提示することで、各単語の「話し言葉的性格」と「書き言葉的性格」を明確に表すことができよう。

4. 結果

4.1 与格助詞

表3 与格助詞の出現頻度

形態	朝鮮学校コミュニティ	世宗話し言葉コーパス	世宗書き言葉コーパス
께 kkey	0 (0.0)	44 (2.1)	928 (2.3)
에게 eykey	29 (70.7)	399 (19.3)	34755 (87.7)
한테 hanthey	12 (29.3)	1560 (75.5)	3284 (8.3)
보고 pokko	0 (0.0)	62 (3.0)	222 (0.6)
더러 tele	0 (0.0)	1 (0.1)	427 (1.1)
合計	41 (100)	2066 (100)	39616 (100)

- (1) 이거 윈빈에게 보내 주세요. さしあげます.
 ike wenpin-eykey ponay cwuseyyo. さしあげます.
 これ, ウォンビン-与格 送ってください。さしあげます。
 (訳: これ, ウォンビン(男性俳優の名前)に送ってください。さしあげます。)

[高級部生徒(女)→監督(男)/雑談/教室]

4.2 接続助詞

表4 接続助詞の出現頻度

形態	朝鮮学校コミュニティ	世宗話し言葉コーパス	世宗書き言葉コーパス
와/과 wa/kwa	41 (43.6)	1312 (47.7)	98556 (99.2)
하고 hako	46 (48.9)	562 (20.4)	435 (0.4)
랑/이랑 lang/ilang	7 (7.5)	869 (31.6)	327 (0.3)
며/이며 mye/imye	0 (0.0)	9 (0.3)	94 (0.1)
서건 sekken	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
合計	94 (100)	2752 (100)	99412 (100)

- (2) 아버지**와** 나가, え, 헤엄, 헤엄을 치고 있는 것이예요.
 apeci-**wa** nay-ka heyem, heyem-ul chi-ko iss-nun kes-i-eyyo.
 父-共同格 私**가**
 (訳: 父と私が, え, 水泳, 水泳をしているんです.)

[初級部生徒(男)→監督(男)/インタビュー/教室]

※4.3 から 4.6 までの結果表は、紙面の都合上省略(発表の際に提示予定)

- 4.3 逆接続副詞
- 4.4 順接続副詞
- 4.5 強調的程度副詞
- 4.6 終結語尾

5. 分析と考察

以上の内容をもとに、朝鮮学校コミュニティと韓国における「書き言葉的な語」の使用様相について整理すると表5のとおりである。基本的に各項目別にもっとも多く使用される語を表に記載しているが、「接続助詞」と「順接続副詞」のようにもっとも多く使用される語が同率である場合、語を2つ併記している。それから韓国の書き言葉コーパスと朝鮮学校コミュニティで内容が一致している場合、当該項目で「書き言葉的な語の多用現象」が存在すると見て表中に記号として別途表示している。なお、記号は以下のような意味を持つ。

- : 話し言葉で「書き言葉的な語」が多く使用される
- △: 話し言葉で「書き言葉的な語」が少なからず使用される
- X: 話し言葉で「書き言葉的な語」がほとんど使用されない

表5 格項目別のもっとも多く使用される語

	朝鮮学校コミュニティ	書き言葉的な語の多用	世宗話し言葉コーパス	世宗書き言葉コーパス
与格助詞	-에게 eykey	○	-한테 hanthey	-에게 eykey
接続助詞	-하고 hako -와/과 wa/kwa	△	-와/과 wa/kwa -랑/이랑 lang/ilang	-와/과 wa/kwa (※99.2%)
逆接続副詞	그러나 kulena	○	그래도 kulayto	그러나 kulena
順接続副詞	그래서 kulayse 그러니까 kulenikka	△	그래서 kulayse 그니까 kunikka	그래서 kulayse 따라서 ttalase
程度副詞①(本当に)	정말 cengmal	○	진짜 cincca	정말 cengmal
程度副詞②(もっとも)	가장 kacang	○	제일 ceyil 절 ceyl	가장 kacang

程度副詞③(とても)	아주 acwu	○	되게 toykey	아주 acwu
終結語尾①(尊待)	-습니다 supnita	○	-어요 eyo	-습니다 supnita
終結語尾②(非尊待)	-다 ta	○	-어 e	-다 ta

上記の表5を通して全体像をもう一度確認してみると、朝鮮学校コミュニティでは「書き言葉的な語の多用」現象が広範囲において実在していることは概ね認められる。ではなぜ、朝鮮学校コミュニティにおいては話し言葉でも非縮約形が多用されているのだろうか。その背景には次のような事柄が関係していると考えられる。

まず、朝鮮学校の教育方針の変化が大きく影響している。朝鮮学校の国語(朝鮮語)教育は1993年(教科書の5次改訂)まで「祖国帰国」を前提とした読み書き中心の教育が行われており、1993年以降からようやく生徒たちの「日本永住」が考慮されはじめ、2003年(教科書の6次改訂)以降から「話す」ことが「読み書き」より優先されるようになった。この点を考慮すると、コミュニケーション中心の教育がコミュニティ全般に影響を及ぼすにはまだ少し時間が必要であろう。

次に、朝鮮学校の生徒たちの朝鮮語の主なインプットが「教科書」と「教員の言葉」であることが影響している可能性が高い。教科書に書かれている朝鮮語は当然「書き言葉的な語」が多く、教員の言葉もフォーマルな教授用語が多く用いられる。そのうえ、本論文の映像資料に登場する教員は、その5次改訂以前の読み書き中心の国語教育を受けている可能性が高い。そのため、生徒たちが学校内で朝鮮語の縮約形について学んだり、本国において「書き言葉的な語」か「話し言葉的な語」に分類される語について十分に習得したりする機会というのは必然的に少なくなる。

また、歴史的・政治的諸事情の関係で、長い間本国との交流が少なかった点も影響を及ぼしたであろう。さらに、本国から教員が派遣されたり、韓国の大学を卒業したオールドカマーやニューカマーが教員になることもなかったため、「特徴のある朝鮮語」が数世代にかけて継承され、共有されていったのであろう。むしろ、今ではネットなどを通して簡単に韓国の朝鮮語に触れることが可能ではあるが、朝鮮学校コミュニティの朝鮮語はもはや「社会方言化」した側面もあり、コミュニティ構成員同士の連帯感を確認する手段としても機能するため、皆と違った朝鮮語を話す周囲から浮くことになる。また、朝鮮学校の生徒たちの主な朝鮮語の学習目的は「自分は朝鮮民族である」という「エスニック・アイデンティティの獲得」にあり、朝鮮語を話す相手も本国の人は想定されておらず、コミュニティ構成員同士で朝鮮語によるコミュニケーションができればそれだけで十分誇らしいことというふうと考えられていることが多い。そのため、本国との傾向の違いはさほど問題視されない傾向にあることが、この現象の背景にあると考えられる。

6. まとめと今後の課題

先行研究から幾度も指摘されている「書き言葉体の話し言葉化」現象について、「書き言葉的な語」の使用を中心に検証を試みた結果、「副詞格助詞」「接続助詞」「逆接続副詞」「順接続副詞」「強調的程度副詞」「終結語尾」の計7つの項目において「書き言葉的な語」が話し言葉においても活発に使用される現象が存在することが確認できた。この結果をもって朝鮮学校コミュニティでは「書き言葉体の話し言葉化」現象が存在すると明確に言えるであろう。

ただし、はたして朝鮮学校コミュニティではどういった言葉が「書き言葉/話し言葉的な語」であるとの認識があるか否かという問題が残る。本発表で検証を試みた各語が持つ「書き言葉/話し言葉としての性格」について、朝鮮学校コミュニティの構成員たちは十分に熟知した上でなんらかの目的や意図を持って話し言葉で用いたのだろうか。もしくは、朝鮮学校コミュニティにおいて韓国と共和国とは異なる新たな「書き言葉性」や「話し言葉性」が付与されるようになっているのではないだろうか。これらのことについて知ることで、ようやく「書き言葉体の話し言葉化」現象についての確かな分析が可能になると考えられる。したがって、現段階では「書き言葉体」と「話し言葉体」のスタイルが統合化傾向にあると結論づけたり、書き言葉体の話し言葉化現象が話し言葉全般において現れていると判断したりすることは困難である。この問題に関しては、今後、朝鮮学校コミュニティの構成員に対してインタビュー調査などを行うことで解決したい。

参考文献

- 植田晃次 (2009). 『総論朝鮮語』の基礎的研究—そのイデオロギーと実践の重層性— 「正しさ」への問い—批判的社会言語学の試み—(野呂香代子・山下仁編著) 新装版 三元社, 111-147.
- キム, イリーナ (1994). 朝鮮総連の朝鮮語教育—コミュニティ再生産のテクノロジー— 新しい日本観・世界観に向かって—日本における言語と文化の多様性—(ジョン・C・マーハ・本名信行編) 国際書院, 182-199.
- 朴浩烈 (2007). 在日朝鮮語の研究—言語分析・社会言語学的考察への試み— 韓国語学年報, 3, 93-124.